

兵庫県内の市町財政の状況(令和4年度)

(1) 経常収支比率の状況

【資料1】令和4年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況<地図>	109
【資料2】経常収支比率(単年度)の対前年度比較	110

(2) 実質公債費比率の状況

【資料3】令和4年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図>	111
【資料4】実質公債費比率の対前年度比較	112

(3) 将来負担比率の状況

【資料5】令和4年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図>	113
【資料6】将来負担比率の対前年度比較	114

(4) 財政調整基金残高の状況

【資料7】令和4年度末兵庫県内各市町の財政調整基金残高の状況<地図>	115
【資料8】財政調整基金残高の対前年度比較	116

(5) 税徴収率の状況

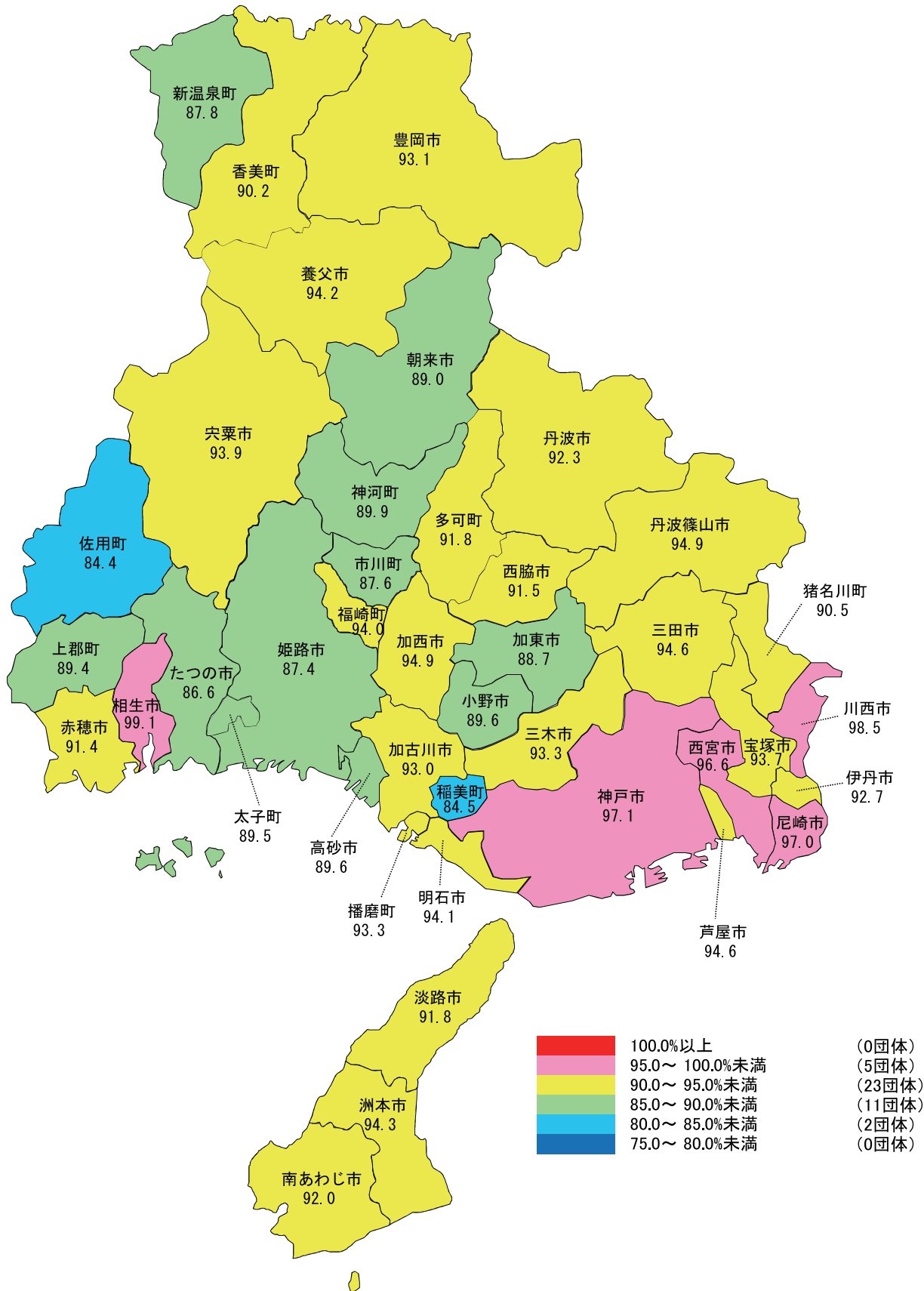
【資料9】令和4年度兵庫県内各市町の徴収率(個人市町村民税)の状況<地図>	117
【資料10】徴収率(個人市町村民税)の対前年度比較	118
【資料11】令和4年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況<地図>	119
【資料12】徴収率(固定資産税)の対前年度比較	120
【資料13】令和4年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況<地図>	121
【資料14】特別徴収実施率の対前年度比較	122

※ 参考

【参考資料①】令和4年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図>	123
【参考資料②】令和4年ラスパイレス指数の対前年比較	124

令和4年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況

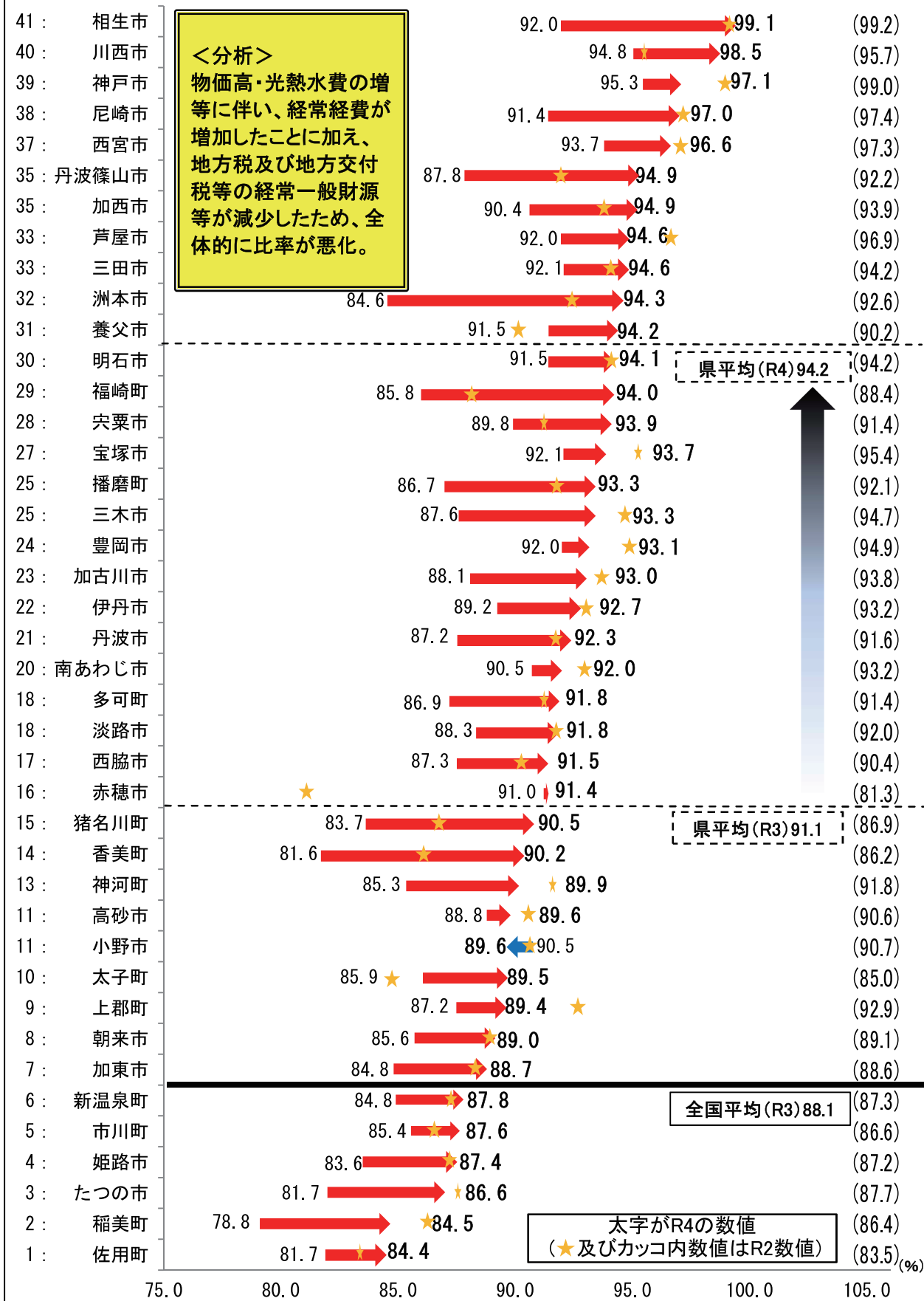
○経常収支比率の県内市町平均は、94.2%(R3県平均91.1%)
 ○経常収支比率が最も高い団体は、市では相生市(99.1%)、町では福崎町(94.0%)
 ○経常収支比率が最も低い団体は、市ではたつの市(86.6%)、町では佐用町(84.4%)



経常収支比率の対前年度比較

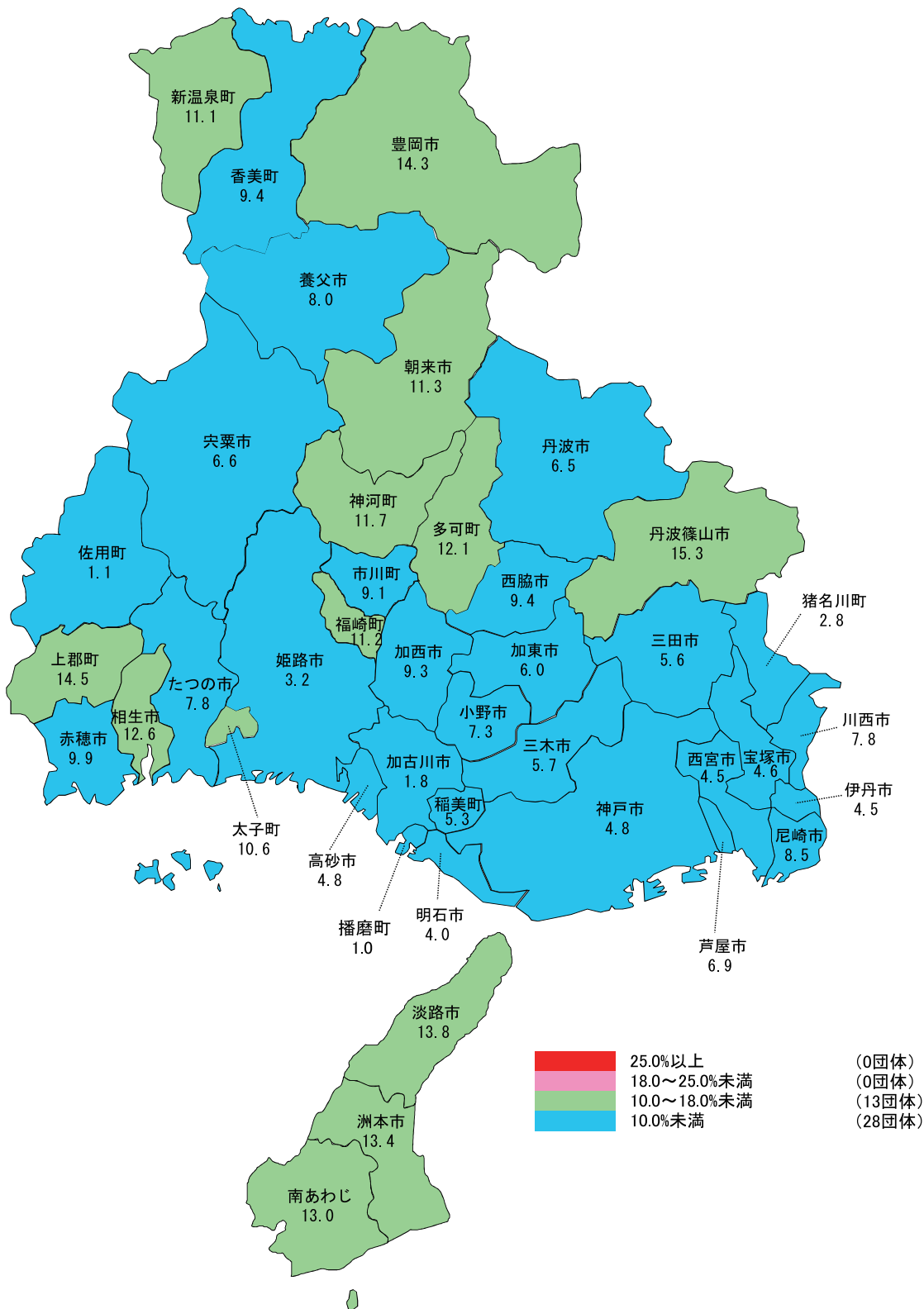
- 前年度から比率が増加したのは40団体、比率が減少したのは1団体。
- 最も増加したのは、市では洲本市(+9.7)、町では香美町(+8.6)。
- 減少は、小野市(▲0.9)のみ

<分析>
 物価高・光熱水費の増
 等に伴い、経常経費が
 増加したことに加え、
 地方税及び地方交付
 税等の経常一般財源
 等が減少したため、全
 体的に比率が悪化。



令和4年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

- 実質公債費比率の県内市町平均は、6.0% (R3県平均 5.8%)
- 実質公債費比率が25%以上及び18%以上の団体は、ない。
- 実質公債費比率が最も高い団体は、市では丹波篠山市(15.3%)、町では上郡町(14.5%)
- 実質公債費比率が最も低い団体は、市では加古川市(1.8%)、町では播磨町(1.0%)



※実質公債費比率25%以上35%未満の地方公共団体:早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債を許可。
 ※実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体:公債費負担適正化計画の内容および実施状況に応じ、起債を許可。

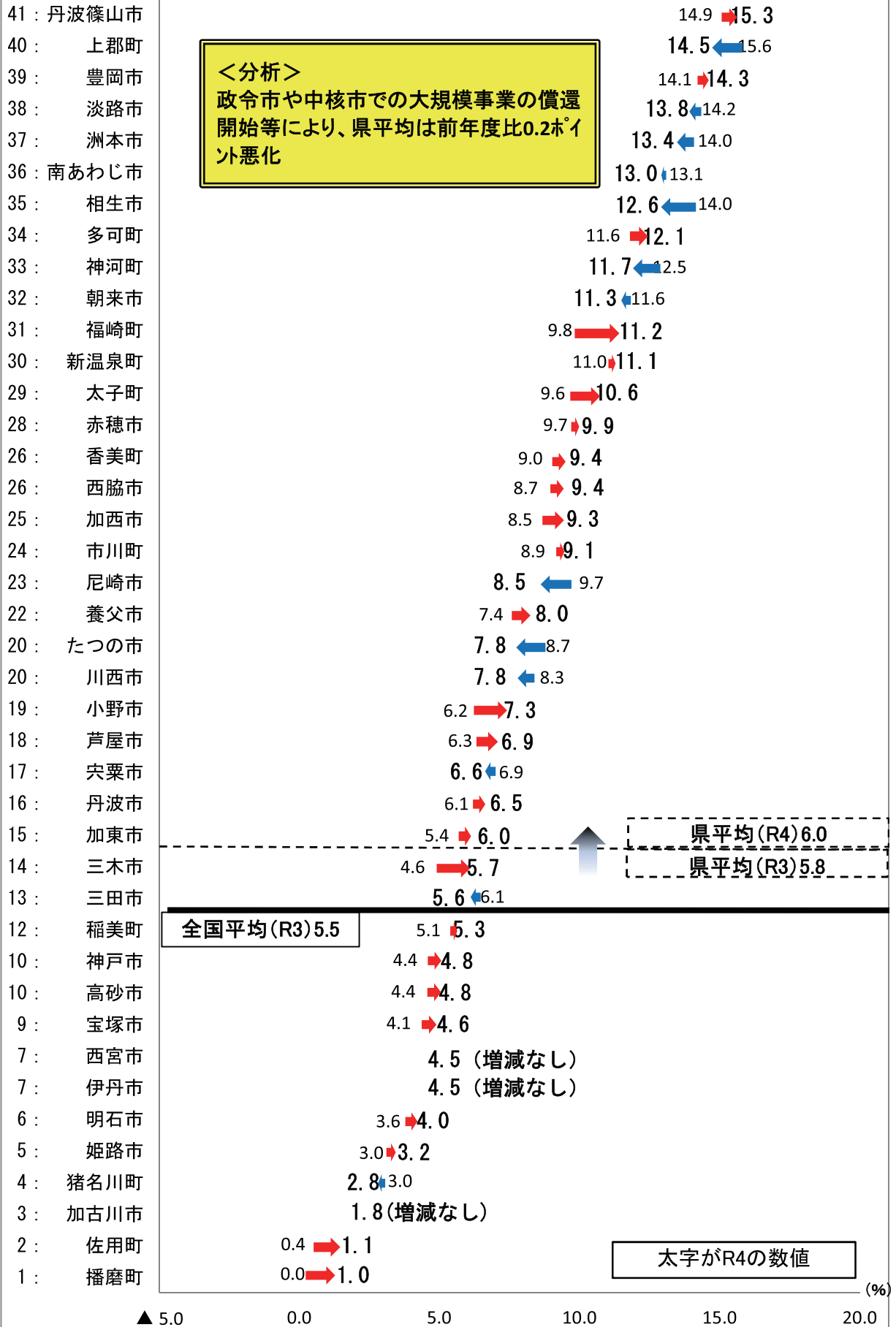
実質公債費比率の対前年度比較

【資料4】

■前年度から比率が増加したのは25団体、比率が減少したのは13団体、3団体が増減なし。
 ■最も増加したのは、市では三木市、小野市(+1.1)、町では福崎町(+1.4)。
 ■最も減少したのは、市では相生市(▲1.4)、町では上郡町(▲1.1)。

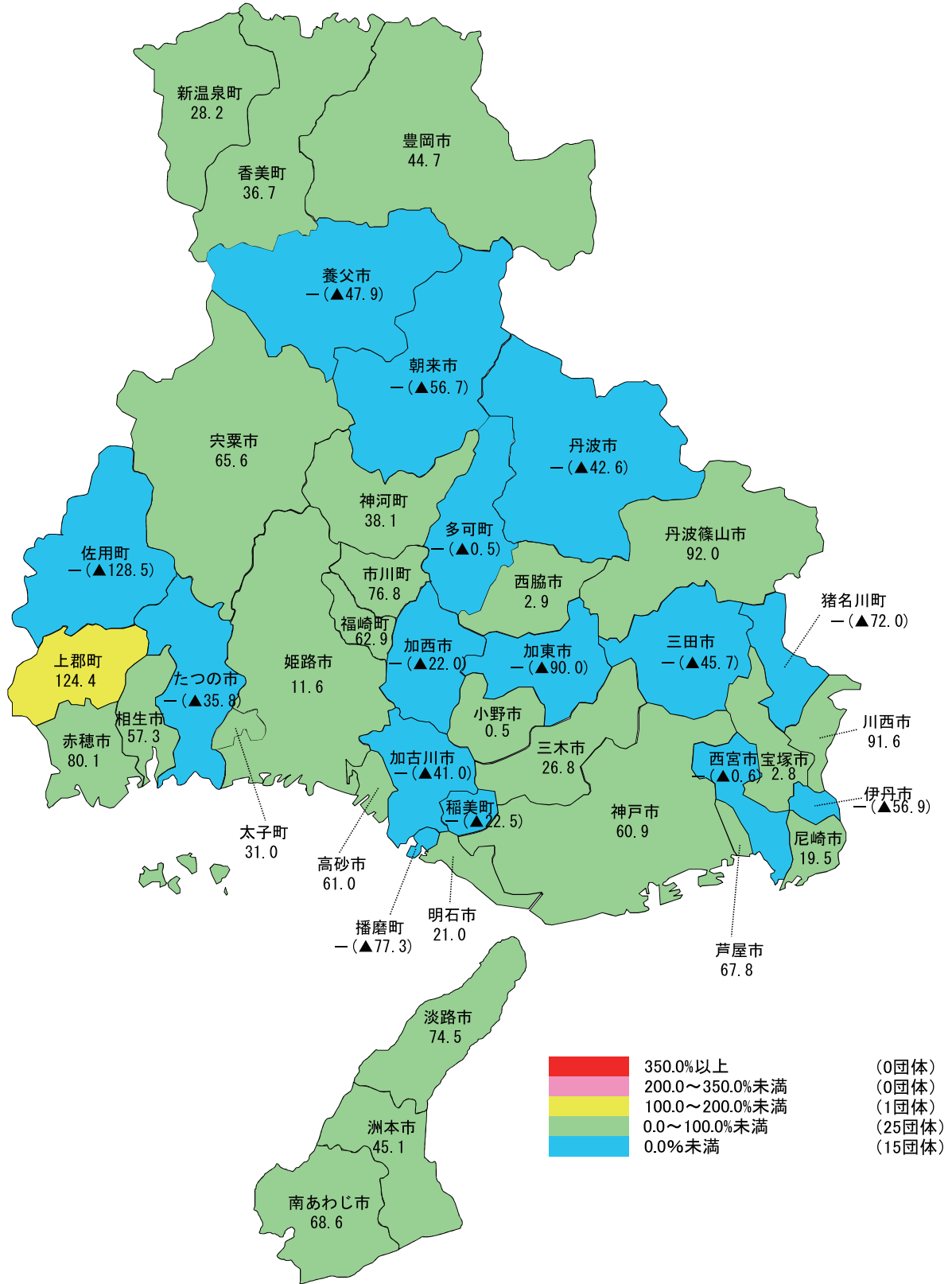
<分析>

政令市や中核市での大規模事業の償還開始等により、県平均は前年度比0.2ポイント悪化



令和4年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

- 将来負担比率の県内市町平均は、25.9%(R3県平均30.7%)
- 将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)の団体は、ない。
- 将来負担比率が最も高い団体は、市では丹波篠山市(92.0%)、町では上郡町(124.4%)
- 将来負担比率が最も低い団体は、市では小野市(0.5%)、町では新温泉町(28.2%)

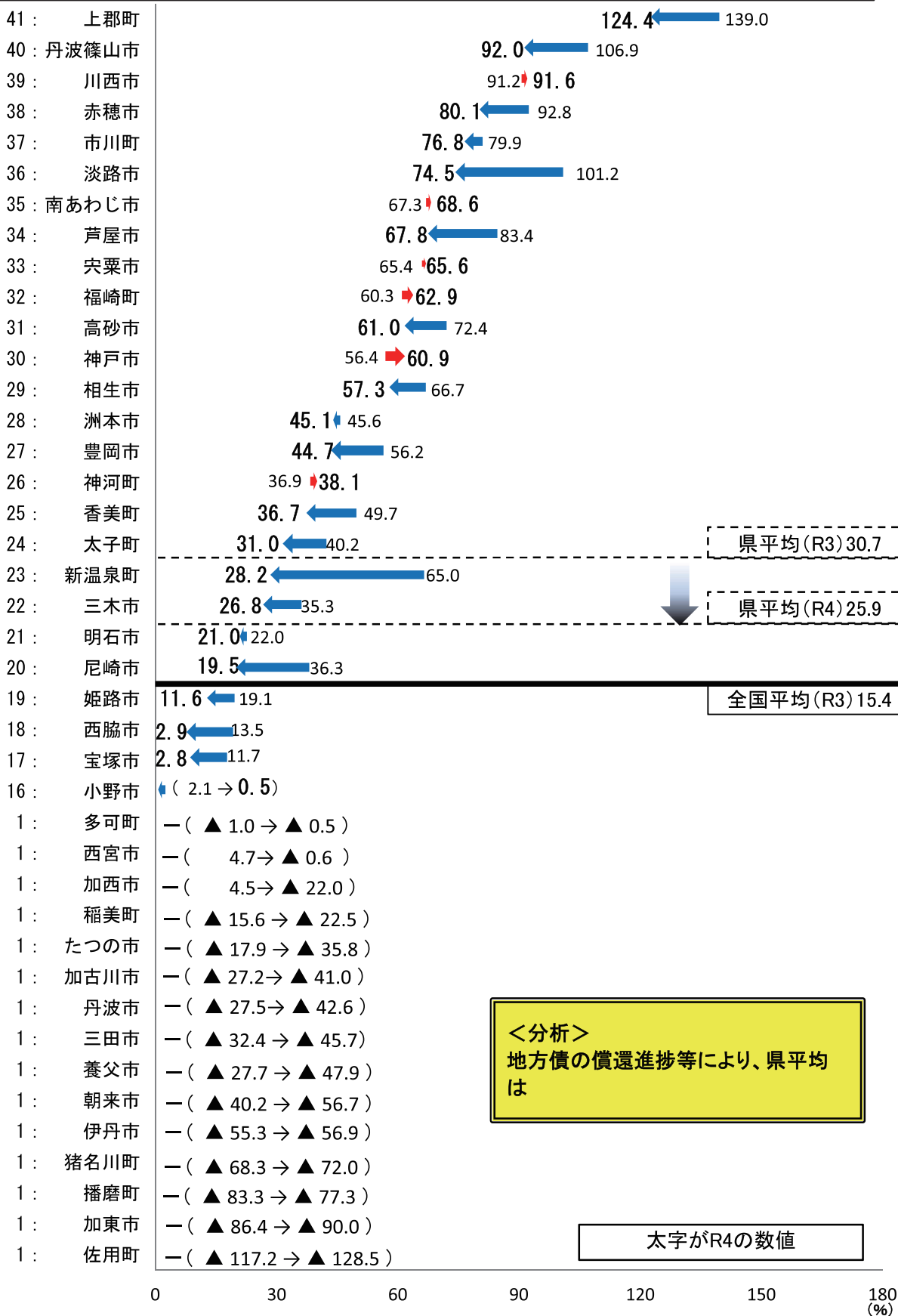


※将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。
 ※将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「-」で表示。(括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)

将来負担比率の対前年度比較

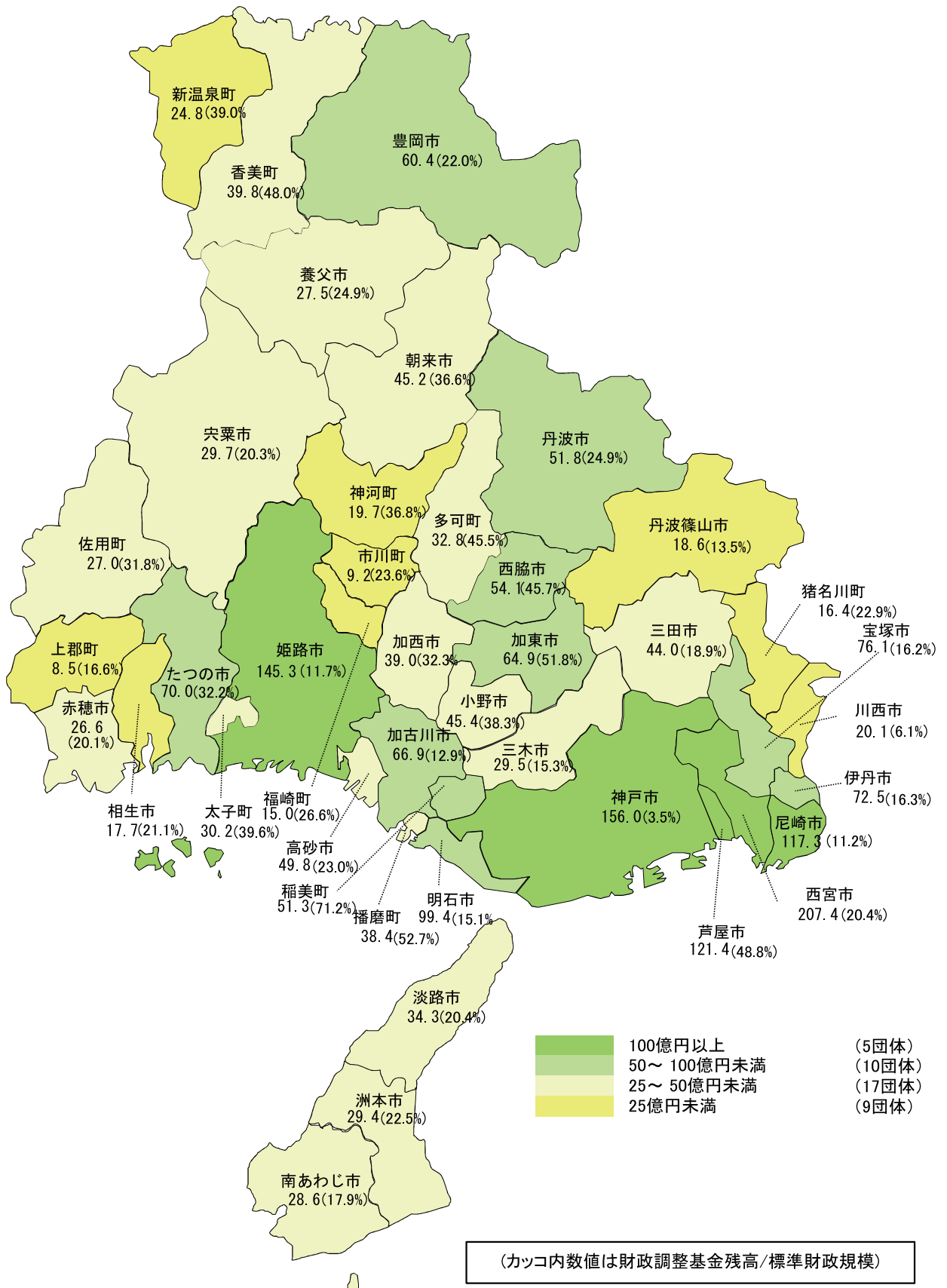
【資料6】

- 前年度から比率が増加したのは8団体、比率が減少したのは33団体。
- 最も増加したのは、市では神戸市(+4.5)、町では福崎町(+2.6)。
- 最も減少したのは、市では淡路市(▲26.7)、町では新温泉町(▲36.8)。



令和4年度末兵庫県内各市町の財政調整基金残高の状況

○財政調整基金残高の県内市町合計は、2,161.9億円
 ○財政調整基金残高が最も多い団体は、市では西宮市(207.4億円)、町では稲美町(51.3億円)。
 ○財政調整基金残高が最も少ない団体は、市では相生市(17.7億円)、町では上郡町(8.5億円)。



(カッコ内数値は財政調整基金残高/標準財政規模)

財政調整基金残高の対前年度比較

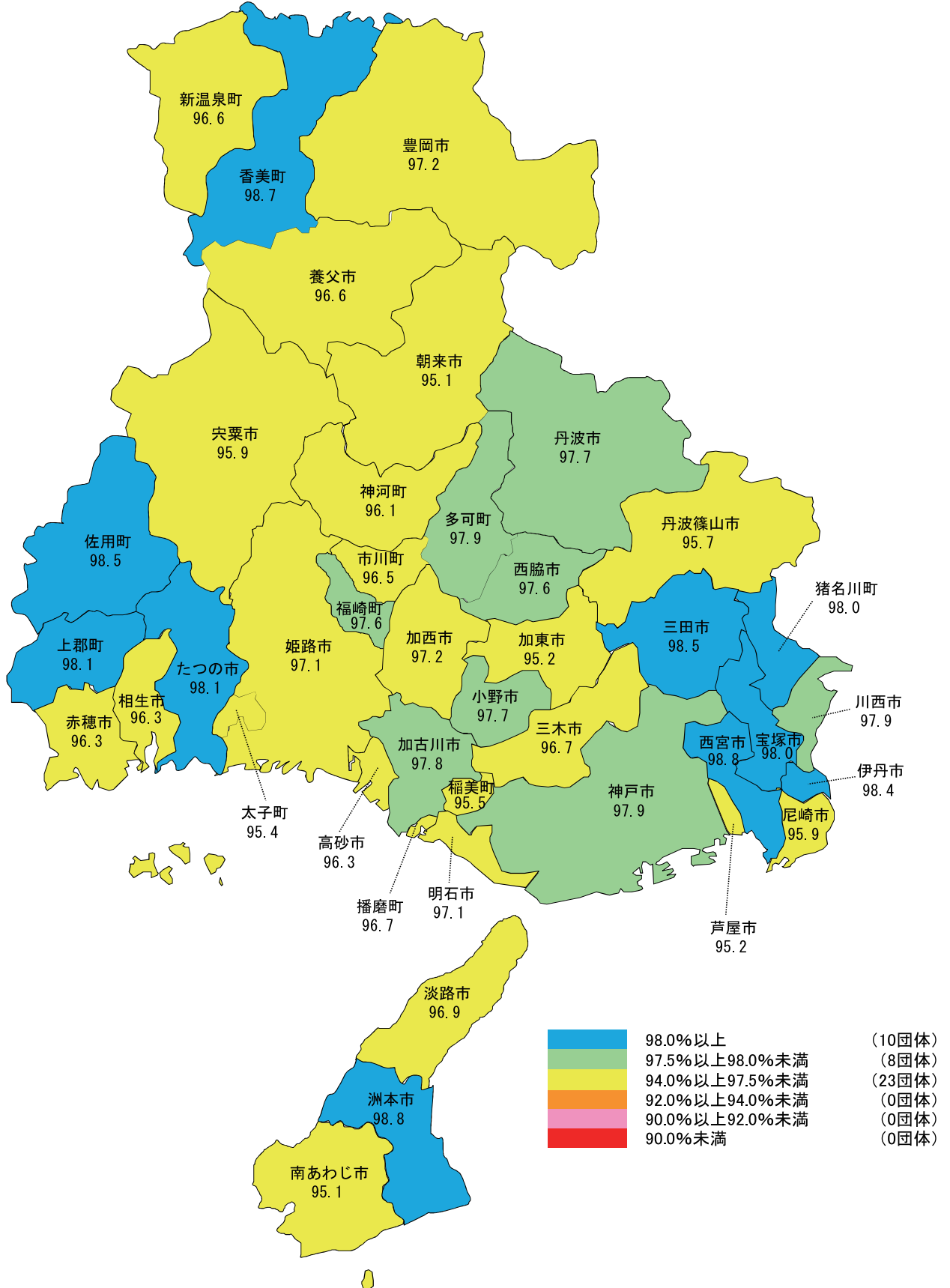
【資料8】

■前年度から残高が増加したのは32団体、残高が減少したのは8団体、1団体が増減なし。
 ■最も増加したのは、市では芦屋市(+32.0億円)、町では稲美町(+4.4億円)。
 ■最も減少したのは、市では丹波市(▲3.2億円)、町では福崎町(▲1.3億円)。



令和4年度兵庫県内各市町の徴収率(個人市町村民税)の状況

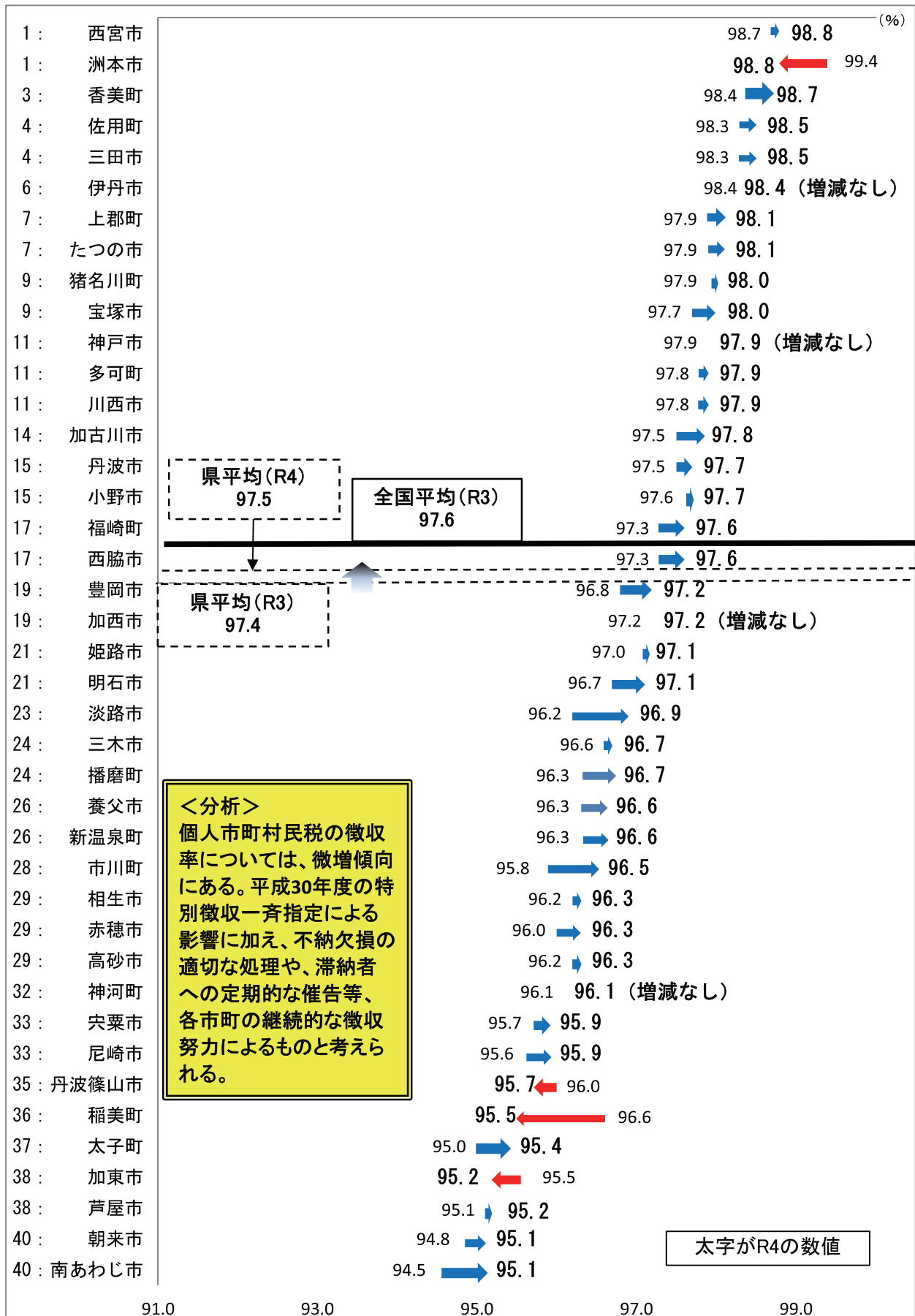
- 徴収率の県平均は、97.5%(R3県平均97.4%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市、洲本市(98.8%)、町では香美町(98.7%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市、朝来市(95.1%)、町では太子町(95.4%)



徴収率（個人市町村民税）の対前年度比較

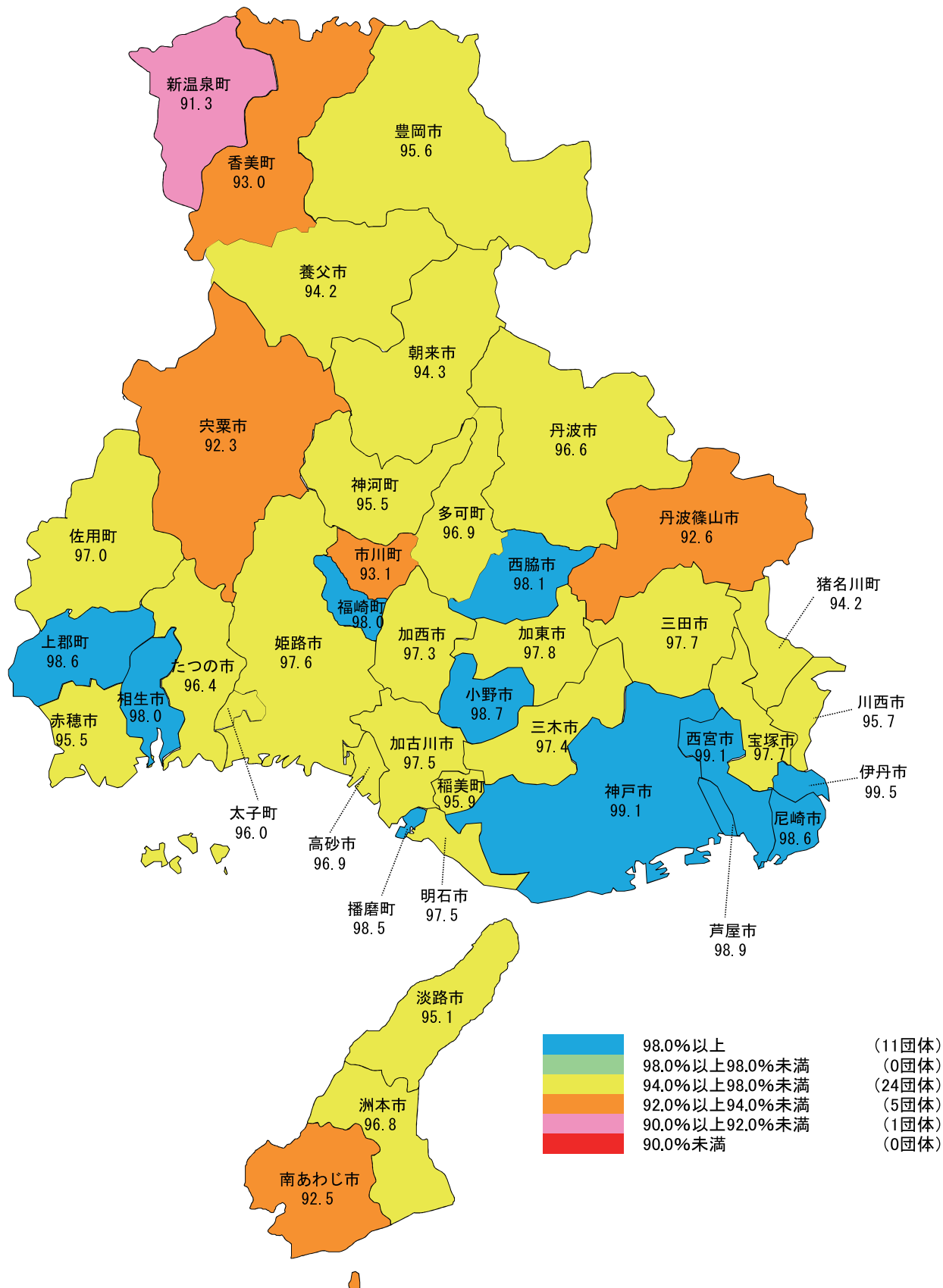
【資料10】

■前年度から比率が増加したのは33団体。
 ■最も増加したのは淡路市(0.7%)、最も減少したのは稲美町(▲1.1%)



令和4年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

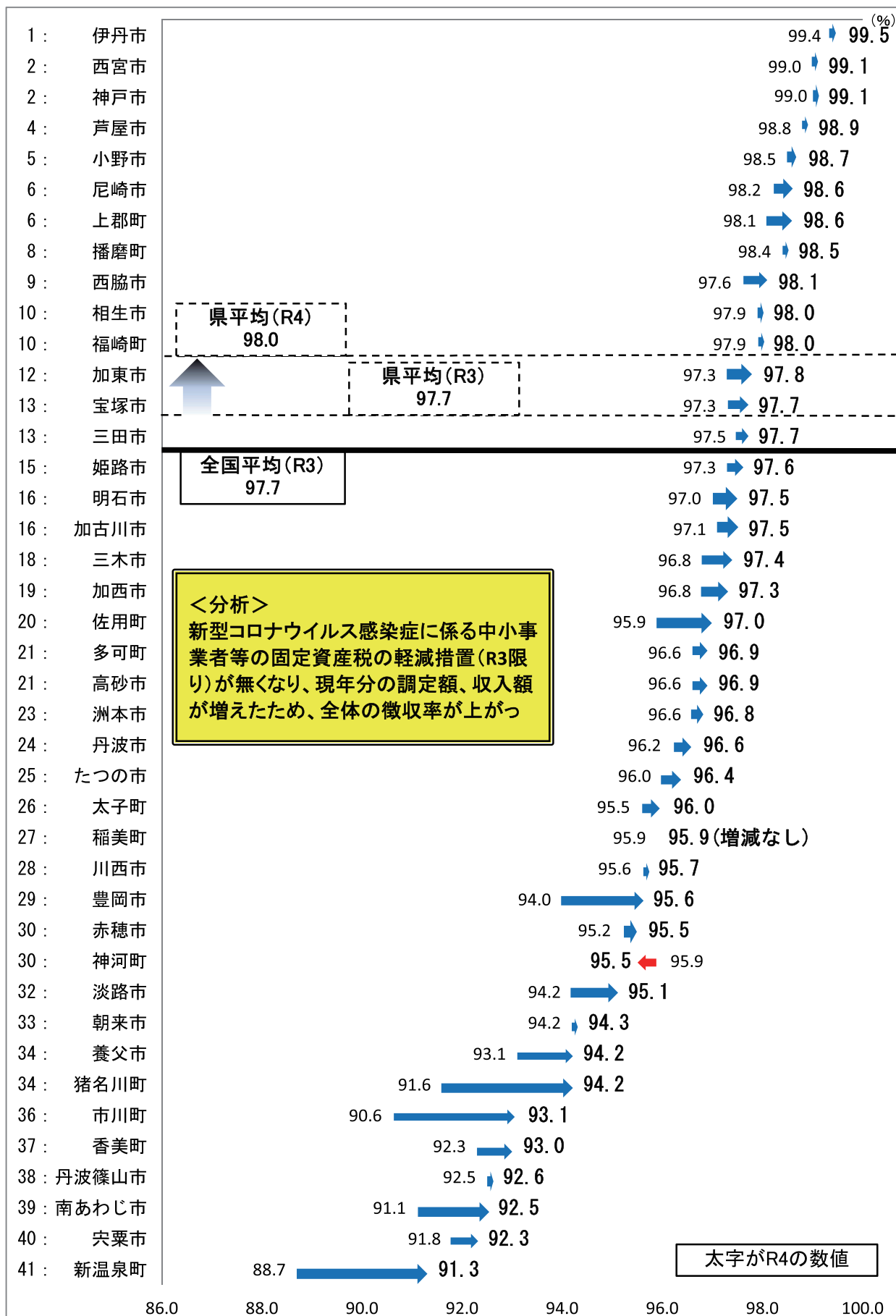
- 徴収率の県平均は、98.0%(R3県平均97.7%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(99.5%)、町では上郡町(98.6%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では宍粟市(92.3%)、町では新温泉町(91.3%)



徴収率(固定資産税)の対前年度比較

【資料12】

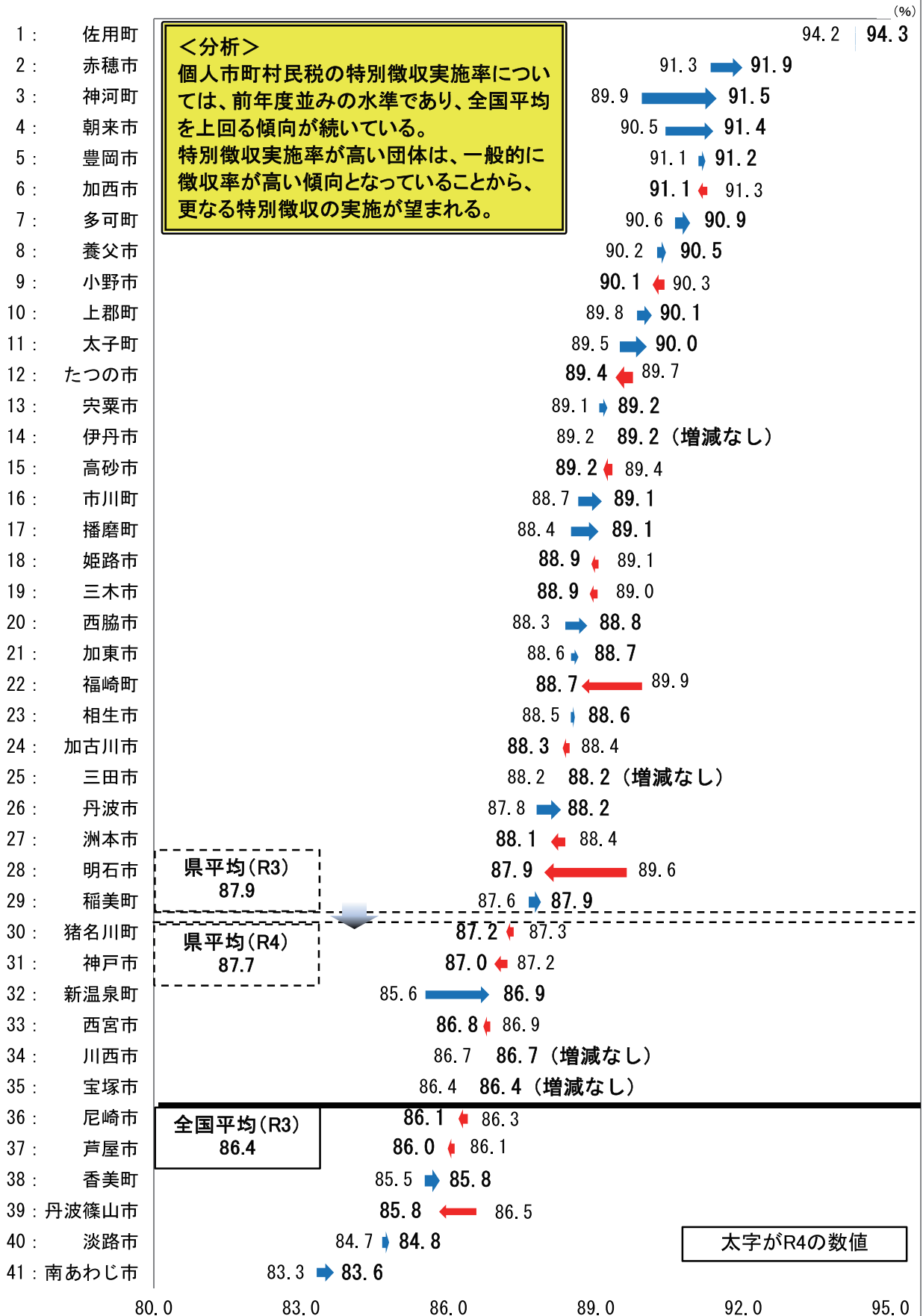
■前年度から比率が増加したのは39団体。
 ■最も増加したのは猪名川町(2.6%)、最も減少したのは神河町(▲0.4%)



特別徴収実施率の対前年度比較

【資料14】

- 前年度から比率が増加したのは21団体。
- 最も増加したのは神河町(1.6%)、最も減少したのは明石市(▲1.7%)



※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

令和4年ラスパイレス指数の対前年比較

【参考資料②】

■前年から指数が減少したのは19団体、増加したのは15団体
 ■100以上の団体は、前年比1団体減の9団体
 ■最も増加したのは猪名川町(+1.0)
 ■最も減少したのは播磨町(▲1.2)

